北海道真駒内養護学校　学校便り「射雲４号（H３０.６.２９）」巻頭言

中学部の教育

中学部主事　髙橋　米華

「位置について、用意！」

　張りのある精悍なかけ声がかかり、生徒たちは誰に言われるでもなく胸を張り姿勢を正します。そして笛の音が鳴ると同時に、自分の記録を超えるという目標に向かって、一心に走り出します。その速さに違いはあっても、自分の持てる力を振り絞って一歩一歩と進む姿を見ていると、胸にこみ上げてくるものがあり声援にも熱が入ります。小学部の運動会と分離し、中学部独自の行事となった記録会は、今年２回目を迎えます。　中学生らしく、目標と緊張感が持てる行事にしたいという先生たちの思いが、スタートのかけ声一つにも表れているのでしょう。そして、その雰囲気をしっかりと感じ取ることのできる生徒たちにも、大きな可能性を感じさせられます。予定であれば6月 22 日、保護者の皆様に練習の成果をご覧いただくはずでしたが、季節外れのインフルエンザにより、やむを得ず延期いたしました。7月 25 日に改めて記録会を開催いたしますので、ご参観のほどよろしくお願いいたします。

　さて、今年度の中学部は、新１年生 18 名を迎え２年生 10 名、３年生 11 名の総勢 39 名でスタートしました。その後の転出入で現在生徒数は 41 名となり、今後さらに転入の予定があります。中学部としてはかなりの大所帯となったため、学習スペースの確保など悩みもありますが、その分、毎朝一人一人の笑顔からもらえる元気が増えました。学部が変わり、スタッフが変わり、時間割も大きく変わった１年生も、環境の変化を受け入れて心と体の力が抜け、自分らしさが出てきているように思います。

　中学生になって、新しい学習として作業学習が始まりました。１年生から３年生が縦割りのグループに分かれて学習しています。作業内容は、牛乳パックをリサイクルした紙すきやクラフト、木工、裁縫などです。自分のできる作業を増やすことや時間いっぱい集中して取り組むことが目標ですが、作業活動を通して、人と関わる力を伸ばすことも重要な目標と押さえています。例えば、材料や道具を他の人に渡す時には、きちんと体を相手に向けて「はい、どうぞ」と声をかける。受け取る方もしっかりと相手の顔を見て「ありがとう」と返す。　このようなやりとりをていねいに行っていくことで、コミュニケーションの力をつけていきたいと思います。また、昨年度から「お役にたちます中学部」をテーマに、校内で誰かの役に立つ仕事に取り組むという活動も行っています。掲示物に使う紙をオーダーしてもらい、そのための紙を漉いて相手に届けること。不要になった印刷物を回収して、シュレッダーにかけること。木工では、畑の作物を表示する看板作りを頼まれました。人に何かを頼まれて、それに応え、感謝されるという経験が、やりがいを感じさせることにつながり、責任感も育てていくことができると考えています。

　１学期も残すところ１か月となりました。学校生活 12 年間の折り返しとなる３年間は、生徒たちの心も体も大きく変化し成長する時期となります。個別の指導計画に基づき生徒の目標達成に向けて、保護者の皆様としっかりと話し合いながら、学習や支援内容の充実に努めていきたいと思います。何かお気づきの点がございましたら、遠慮なくお近くの職員にお声かけいただければと思います。

北海道真駒内養護学校　学校便り「射雲４号（H３０.６.２９）」巻頭言

高等部の教育 「今を大切に」

高等部主事　渡辺　晃美

今年度、高等部は１年生８名、２年生 16 名、３年生 12 名、うち訪問学級生５名、計 36 名でスタートしました。入学式で校長先生から「入学許可」を認められた１年生は、最初のころの緊張もすっかり吹き飛び、やさしく頼もしい２・３年生の先輩たちとともに高等部の生活を満喫しています。4 月からこれまでの高等部の学習をご紹介します。

４ 月、生徒会役員選挙があり、実際の選挙で使用する選挙台と投票箱が設置された体育館で、厳粛に選挙が行われました。1 年生は、中学部の選挙の様子との違いに戸惑いながらも、18 歳選挙権を意識できる学習の機会となりました。当選した生徒会役員たちは高等部のリーダーとして活躍しています。

５ 月から、体育の授業で体育大会への取組が始まりました。今年は、将来の余暇に繋がる生涯スポーツの導入、そして 2020 年東京オリンピック・パラリンピックをより親近感をもち応援できるよう「フロアーカーリング」を行いました。また後半は『ＹＭＣＡ』のダンスを行い、これまで PTA おやじと遊ぼう・躍動の会で長年お世話になっていた「車いすダンスハーモニー」の方々に振り付けとダンス講師をお願いしました。行事を通し校外の方と繋がることで、生徒たちは「車いすダンス」という余暇の過ごし方があることを知る機会に、また校外の方には高等部の学習活動を知っていただく機会となりました。

新聞でも紹介された「フラワースマイル大作戦」は、２・３ 年生の生活単元学習での取り組みです。澄川「緑化の会」の方々のご指導とご協力を受け、精進川沿いの一角に花壇づくりを行っています。地域に貢献する気持ちや花を大切に育てる気持ちを、地域の方との連携を通し学習しています。

今年度の高等部では「高等部の教育目標を達成する、核となる授業をつくる」を重点目標に掲げました。新たな教育活動を展開するのではなく、これまで高等部で行われてきた様々な良い授業を整理し、改めて教育的価値や意味づけをしながら、実践の中で検証していく１年にしていきます。例を挙げると作業学習ではこれまで行ってきた作業種を「みどり」「デザイン」「クリーン」「おとな」という４つにプロジェクト化し、地域との連携も含めながら、グループごとのねらいや活動について整理しています。

私たちは、15 歳から 18 歳までの青春真っただ中の生徒たちと過ごせる幸せと責任をかみしめながら、出口ばかり考えるのではなく「今を大切に」一日一日の学習をしっかりと積み重ねてまいります。保護者の皆様には、様々な学習活動においてこれまで同様ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。